

# News Letter

発行：2024.10.01

## INTELLIGENCE

### JPR&C『環境デューデリジェンス』ご提供開始

- ESG時代の多様化・複雑化する環境リスクへの対応 -

## POINT

- ・ ESG時代において、環境リスクは多様化・複雑化の一途
- ・ 今般、JPR&Cでは環境デューデリジェンスのご提供を開始



## RELATED

- ・ 環境デューデリジェンス
- ・ ESGリスク
- ・ OECD多国籍企業行動指針
- ・ ビジネスと人権に関する指導原則

環境デューデリジェンス（DD）は、M&Aや不動産取引の際など、投資対象のリスク、特に環境面でのリスク把握のために行われる一連の調査のことです。具体的には、M&Aにおける売り手企業が不動産（土地・建物等）を保有する場合に、土地であれば土壌汚染、建物であればアスベスト調査、そのほか大気汚染、水質汚染などの環境への負の影響の有無や、負の影響の停止や是正に係るコストなど、保有不動産を含む企業全体の価値へのインパクトを事前に調査・推し量るプロセスになります。

近年、事業を取り巻く環境リスクは多様化・複雑化しており、「大気」「土壌」「水」「騒音」「振動」「悪臭」の典型6公害のリスクはもちろん、「作業環境」や「有害物質・廃棄物」など法律改正や規制対象の拡大により対応が求められるリスク、「生物多様性」など社会意識の変化によって新たに対応が求められるリスクもあります。これらの多様で複雑なリスク項目への適切な対応には、紋切り型のDDではなく、プロフェッショナルの知識と経験に基づく「インテリジェンス」の要素が不可欠です。

経済開発協力機構（OECD）の「OECD多国籍企業行動指針」や国連の「ビジネスと人権に関する指導原則」では、企業行動による環境や人権への負の影響を特定・防止・軽減する手段として「DD」プロセスの実施を求めており、これを受ける形で、我が国でも環境省を中心に、環境DDを用いてのバリューチェーンの健全性評価が推奨されています。欧州を中心にDDの実施や情報開示を義務付ける法制度の導入・検討が進展しており、**様々なビジネスシーンでの環境DDの実施**が今後重要となります。

この度、JPR&Cでは、**ESG時代のビジネスシーンにおける広範な環境リスクに対応する、環境DDサービスの提供を開始**しました。本サービスは、従来の典型6公害に主眼を置いた環境リスク調査（Environmental; E）はもちろん、「生物多様性」など新たな観点や「作業環境」など一部社会リスク調査（Social; S）の範疇までを網羅します。当サービスは、M&Aや不動産取引の際の健全性評価や価値算定のほか、不正調査・バリューチェーンの健全性評価などにご利用いただけます。

環境DDの目的は「粗探し」ではなく、あくまでも**環境1次データに基づく確固たるエビデンスの提供と、それを活用した健全性評価や適切な価値算定の実現**にあります。貴社にとって重要なお取引であればなおさら、このESG時代において、ますます重要性が高まる環境DDをぜひご活用ください。

## ESG時代に対応する環境デューデリジェンス

### 【対応する環境リスク項目】

- ・「土壌、水質、大気、振動、騒音、悪臭」などの典型6公害リスク
- ・「作業環境」、「有害物質」など、労働者の健康・人権に係るリスク
- ・「廃棄物」「生物多様性」などもしくは、新たに生じたリスク

### 【本サービスの内容】

地歴調査、関連法令調査、現地調査（周辺環境、環境一次データ把握）、アセスメント、インパクト評価、対応支援（法的対応・是正措置計画策定支援・体制構築支援、IR支援）

JPR&C

Intelligence Company  
「企業のための専門情報組織」

2009年  
設立

1,000社超  
取引企業

7,000件超  
調査実績

80所超  
取引弁護士事務所

600件超  
年平均案件

28名他  
Professional

35ヵ国超  
海外調査実績

84万超  
独自DB情報



JPR&C  
Research&Consulting

株式会社JPリサーチ&コンサルティング  
〒105-0001 東京都港区虎ノ門3丁目7番12号 虎ノ門アネックス6階

TEL : 03-6459-0353 MAIL : info@jp-rc.jp  
URL : <http://www.jp-rc.jp>